

平成28年度

# 介護ロボット導入好事例表彰事業

最優秀賞

事業者部門

社会福祉法人野の花会



左から テクノイド協会 大橋理事長、野の花会 アルテンハイム加世田 リハビリ課 楠元課長 同施設、リハビリ課 新係長



最優秀賞受賞者スピーチ



プレゼンテーション



## 受賞者の喜びの声

この度は、95団体の応募のなか、優秀賞として8団体に選んでいただけても大変大きな喜びですが、さらに最優秀賞を受賞できましたことをスタッフ一同大変嬉しく思います。

介護ロボットの導入は約2年前になります。導入以前も持ち上げない介護を実践し働き易い職場環境に努めてきました。しかし、食事時の移乗や日中おむつゼロ達成の為、トイレでの排泄を促すことで持ち上げる場面が増えました。そこで、負担軽減を目的に介護支援用ロボット「HAL」を導入しました。負担軽減のみならず、デザイン性も良く介護現場の「暗い」「きつい」等のイメージが少しでも払拭され「かっこいいスタッフ像」へとイメージチェンジに繋がるのではと思いました。導入当初、全く使用されずに約6ヶ月が過ぎました。その後、勉強会を重ねて使用に至るまでの取り組みが、今回評価されたのではと思っています。

今後は、介護ロボットを積極的に活用しつつも自立支援介護を目指し、ご高齢な方の能力がより向上するよう努力したいと思っています。

最後に大切なことは、私達の持つ「真心」と「やさしい手」を忘れずにロボットを使いこなすことだと思います。その上で、お互いに安心・安全な介護を目指します。